

5 月 7～8 日に行った田植えでしたが、もその後の天候が順調に推移したことから 6 月中旬には、稲丈が 30～35 cm に 1 株当たりの茎数も 20～25 本までに生育してきました。

例年この時期に行うのが中干しと溝切り作業ですが、その前に圃場の一部に発生した雑草（ヒエ、ホタルイ）を除草する必要があります。通常一般の農家では除草剤を 2 回 3 回と使用し雑草を取り除くのですが、当農園では除草剤（薬剤）を出来るだけ使用したくないため、昔ながらの除草機を導入し除草作業を行っています。

新しく導入した動力除草機

動力除草機による作業

雑草のホタルイ



この時期行う中干し効果と溝切り（江立て）の効果については、毎年 6 月号等で紹介してきましたが、主な効果としては、・田植え後圃場の水を湛えたままでは、土中の酸素不足が生じ、根腐れ被害が発生する恐れがあることから、土中に酸素を供給し丈夫な根を育てます。・不要な茎の数（無効分けつ）を抑制します。・稲丈の生長（節間）抑制を図り倒伏防止効果が期待されます。・根が土中深くまで伸びることから未利用の肥料を利用でき丈夫な根が土中深くまで張巡ることから倒伏防止効果が得られます。・圃場の表面が硬化することで秋の収穫作業が容易になります。このような効果が期待出来ることから稲作りにとってはこの時期欠かせない作業です。

庭に咲くザクロの花

溝切り機による江立て作業

完成した排水用の溝（江）



この時期稲も生長しますが畦草雑草の生長も旺盛です。これまで田植え前と田植え後、6 月中旬の中干し直前と今年 3 回目の草刈り機による除草作業を行いました。一般の農家では近年畦道についても草刈り機を使用せず除草剤（薬剤）を使用している省力作業を行う農家が多く見られるようになってきましたが、圃場の稲についても影響が出るのではと心配しています。当農園では畦道の除草には薬剤を一切使用していません。

今年の畦を利用する文字アートを「MINERARU 肝太米」で準備中です。畦草の生育具合を見ながら刈り込みに取りかかることにしています。



6月20日現在の稲株状況

今年も定点観測を開始

発行者：〒944-0023 新潟県妙高市西条 7 5 5
妙高西条農園長 池田博子
☎ 0255-72-3497 fax 0255-72-2908
URL : <http://www.kanta.jp> E-mail : ikedata@kanta.jp